



「コミュニケーション」といいますが…

先日、施設内研修でコミュニケーションについて勉強しました。その中で、話かけられやすい人の特徴には①適度な距離感、②笑顔の人、③穏やかな眼差し、④相槌や傾聴があると勉強しました。それぞれのポイントについて細かく学習しました。日頃からも何となく意識していると思っていましたが、あらためて分析して頂きました。笑顔や目線については個々考えていたことがどれだけ相手に影響を与えているか、他部署の人と相手になってもらい実験してみました。参加者のみんなが「そうだったのか」「忘れていた」と気づいたのではないのでしょうか。コミュニケーションはどこから始まっているとおもいますか？ドアをノックするところからだそうです。利用者によっては階段を急いで駆け上がってくるヘルパーを感じていて「今日は焦っているな」と言われたそうです(講師の談話)。介助は親密距離で行われるからこそ笑顔や穏やかな眼差しが重要です。復習ですが、笑顔は好意を示す態度であり、あなたに警戒心をもっていませんというサインであること。視線は人間関係の入口であり、アイコンタクトがうまくいかなければ友好関係は深まっていけない。以上を毎日仕事に入る前に考え、「笑顔」、「視線」と唱えてみてはいかがでしょうか。

!

業務連絡 1



施設内研修

日時 3月12日(木) 17:40~19:40
 場所 デイフロア
 内容 「医療的ケア」
 講師 東京福祉保育専門学校
 福村 富士子 先生

業務連絡 2



施設内研修

日時 3月16日(月) 17:40~19:40
 場所 デイフロア
 内容 「相手の力を引き出す
 ベット上での介助方法」



ステーションから

最近、ヘルパーさんの骨折が相次いでます。骨折というと完治まで数ヶ月かかることが多く、その都度代行を長期にお願いすることになっています。「ずっとは無理ですが、短期の代行なら…」とありがたいお言葉に甘えております。骨折された方はこんなになると思わなかったと誰もが言っています。改めて、大きな声で言います。「**気をつけてください!**」

新入学のお子さんをお持ちのヘルパーさんへ

創和会では心ばかりのお祝いをさせて頂いております。
 詳しくは、事務の斎藤さんまで申し出て下さい。

編集後記

新しい季節を迎えるのはとても(*∩∩*)ワクワクしますが、同時に春は送別の季節でもあります。涙を拭いて明日に向かって行くのは、時として厳しいものがありますね(´・_・`)

by tojima

